

貿

五年

画数 12
筆順

ボウ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

成り立ち



「おたがいにかけている所があり、その欠けている所を交換し合う」ことを表した「貿」と、お金の意味を表した「貝」とを組み合わせて作った字です。

「物と物とを交換したり、物を売ったり買ったりすること」を表した字です。

〔貿の「貿」と、留（5画 833）の「留」とは、今の字形は全く同じであるが、音が異なるように、原形が異なっている。したがって、意味も異なることに注意されたい。〕

使い方

▽日本の貿易の特徴は、原料を輸入し、加工して高価な製品にして輸出する所にあります。それで、毎年、黒字経済の連続で、経済大国の仲間入りをしました。

▽北半球では、北東の貿易風が吹きますので、北に進む台風は本土に近づくにつれて、東の方にそれることが多いのです。

熟語例

▽貿易（易は「変える」という意味の字ですが、ここでは「換える」という意味に使われています。物と物を交換したり、物を売ったり買ったりすることを言います。おもに、「外国との取引き」の意味に使われます。「交易」とも言います。）

▽貿易風（赤道の南と北の三十度付近から、赤道に向かって吹く風のことです。北半球では北東から、南半球では南東から吹きます。昔は、この風を利用して、貿易船が航行しましたので、貿易風という名前がつけられました。）

暴

五年

画数 15
筆順

ボウ・バク
あばりくられる

成り立ち



「日」と、「供える」という意味の「共」と、「米」という字が変化した「水」とを組み合わせて作った字です。「米を日に供える」という意味の字で、「米を日光に曝す」ことを表した字です。今では、「日」ではなくて、「人目に曝す」こと、つまり、「暴く」という意味に使われています。例 暴露。

「暴く」ことから、「暴れる」という意味にも使われるようになりました。例 乱暴、暴動、暴風、凶暴。

「荒々しい」という意味。例 暴言、横暴。また、「度が外れる」意味。例 暴飲暴食。

使い方

▽台風が接近してくるにつれて、暴風が吹きあれるようになります。強い雨も降って来ます。家の弱い部分を修理したり、雨戸を閉めたりして、台風に備えましょう。

▽夏は、冷たい飲み物や食べ物欲しくなります。でも、冷たいものとりすぎは体に毒です。日ごろから暴飲暴食をしないようにしましょうね。

熟語例

▽暴露（秘密や悪事などを暴くこと。）

▽乱暴（暴れること。荒々しい、道理にはずれたふるまいのこと。）

▽暴動（たくさん人があつまって暴れ、社会の治安を乱すこと。）

▽暴風（非常に激しく吹きあれる風）

▽凶暴（狂ったように暴れること。「五人の人を殺した凶暴な殺人犯」などというふうに、つかいます。）

▽暴言（荒々しい言葉。悪口）

▽横暴（荒々しくて道理にはずれていること。）

▽暴飲暴食（度をすぎて飲んだり食べたりすること。）